

令和8年度

事業計画書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和8年度事業計画について

当財団は、京都コンサートホール、京都市文化会館（5館）、ロームシアター京都の指定管理者として施設の運営に当たるとともに、京都市交響楽団の運営を行っております。

令和8年度は、京都コンサートホール、京都市文化会館（5館）、ロームシアター京都の各施設において、現行の指定管理期間の最終年度を迎える年度となります。

京都コンサートホールにおいては、海外一流オーケストラの公演による、世界水準の音楽鑑賞の機会を提供するとともに、「京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」の30回という節目を記念した公演を実施するほか、若手アーティストの育成を目指した公演・事業など文化芸術都市・京都にふさわしい事業を展開してまいります。

京都市文化会館においては、地域の文化芸術団体等とのネットワークを強化し、地域の文化芸術活動の活性化に向けた様々な活動、取組を行ってまいります。

ロームシアター京都においては、令和7年度に引き続き、リニューアルオープン10周年の各種記念事業を展開します。劇場経営の基盤強化を図りながら、京都における音楽芸術・舞台芸術の拠点として、文化芸術都市・京都の更なる発展に寄与してまいります。

京都市交響楽団においては、創立70周年を迎えます。京都市交響楽団ビジョンの戦略に基づき、沖澤のどか常任指揮者、ヤン・ヴィレム・デ・フリースト首席客演指揮者のもと、節目を迎えるオーケストラとして、更なる歩みと今後の方向性を見据えたプログラムを展開してまいります。

また、「中期経営計画2029」で掲げるスローガンを念頭に、各事業に取り組み、財団の存在意義を高めてまいります。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 主催・共催事業〔40事業63公演11講座〕

京都コンサートホールは、令和8年度の主催事業のテーマを「時を超える響き—The Resonance Beyond Time—」とし、音楽が時を超えて受け継がれ、世代や国境をも越えて互いに響き合う瞬間を多角的に捉えた数々の公演をお届けします。歴史と文化が息づく京都の地から、クラシック音楽の力が描き出す“時間の響き”を世界へ発信すると同時に、文化芸術の力を活用した地域活性化を目指します。

また、次代を担う人材の育成や、音楽文化の普及・啓発に関わる事業についても継続的に取り組みます。子どもから高齢者まで幅広い世代が音楽に親しみ、芸術の価値を実感できる機会を提供するとともに、多様な事業を通して地域社会の文化的基盤の充実と発展に寄与することを目指します。

1 京都市交響楽団のさらなる飛躍を促進

京都市交響楽団の音楽をより多くの方々に届け、その魅力を広く発信するため、令和8年度も連携事業を実施します。

主催事業の柱である「京都の秋 音楽祭」は第30回という節目を迎え、開会記念コンサートでは園田隆一郎の指揮のもと、京都市交響楽団によるマーラーの交響曲第2番《復活》を上演します。本公演では市民公募による合唱団を結成し、さらに市民を招待することで、地域と一体となった音楽祭の幕開けを創出します。

また、京都市交響楽団創立70周年を記念し、第8代常任指揮者を務めた小林研一郎を迎え、ヴァイオリニスト木嶋真優との共演により、チャイコフスキー及びドヴォルザークの名作をお届けします。長年にわたり京都の音楽文化を支えてきた同楽団の歩みを振り返るとともに、その芸術性の高さを改めて広く発信します。

さらに、アンサンブルホールムラタでは、京都市交響楽団メンバーによる室内楽公演を継続して実施し、個々の音楽活動の充実を図るとともに、多彩な演奏形態を通して楽団の新たな魅力を提示します。これらの取組により、京都市交響楽団のさらなる発展と市民との結びつきの強化を目指します。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

世界水準の演奏に触れる機会を広く提供するため、令和8年度も海外の著名なオーケストラおよびアーティストを招聘し、多彩な公演を実施します。

大ホールでは、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団といった世界的オーケストラによる公演を開催します。これ

らの公演では、藤田真央、HIMARI、反田恭平など国際的に活躍する日本人音楽家がソリストとして出演し、世界と日本をつなぐ舞台を創出します。

室内楽分野においては、世界的弦楽四重奏団キアロスクーロ・カルテットとフォルテピアノ奏者川口成彦による公演を実施するほか、J.S.バッハの鍵盤作品全曲録音プロジェクトに取り組むフランスの鍵盤奏者バンジャマン・アラールを招き、歴史的奏法に基づく古楽コンサートを開催します。

また、海外アーティストによるコンサートシリーズ「北山クラシック倶楽部」についても継続して5公演を実施し、幅広い層に質の高い音楽体験を提供するとともに、新たな聴衆の開拓を図ります。

3 日本有数のパイプオルガンの活用

ホール開館の翌年より継続して開催している、西日本最大級のパイプオルガンを活用した『オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ』を令和8年度も実施します。

本年度は、関連する鍵盤楽器公演との連携企画として、フランスの鍵盤奏者バンジャマン・アラールを招聘し、チェンバロ公演とオルガン公演の双方でJ.S.バッハ作品を取り上げます。両公演を通してバッハの鍵盤作品を多様な響きで体験できる機会を提供し、作品の普遍的な魅力を広く発信します。また、両公演をあわせて鑑賞できるセット券を販売し、鑑賞機会の拡充を図ります。

もう一つの公演では、指揮者としても国内外で活躍する鈴木優人を迎え、オルガンの豊かな音色と多彩な表現力を活かしたプログラムをお届けします。

いずれの公演も、幅広い層の来場を促すためチケット価格や内容に配慮し、日本有数のパイプオルガンの魅力を身近に感じていただける機会を提供します。

4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

京都市交響楽団員や合奏指導者のもとで活動する「京都市ジュニアオーケストラ」は、令和7年度に創立20周年を迎え、令和8年度は新たな歩みを進める年となります。定期演奏会では、京都市交響楽団常任指揮者の沖澤のどかの指揮により、京都市立芸術大学講師のピアニスト高木竜馬を迎え、若い世代の音楽的成長を示す公演を実施します。

また、京都市文化会館との連携事業として開催する「ミュージック・サマー・コンサート」では、ドイツを拠点に活躍する若手指揮者松川創を迎え、幅広いジャンルの作品に取り組むことで、団員の表現力の向上と多様な音楽体験の機会を提供します。

さらに、関西の音楽大学・芸術大学の学生が一堂に会する『関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール』についても継続して開催します。令和8年度は京都市立芸術大学教授の阪哲朗を指揮者に迎え、特色あるプログラムに取り組むことで、各大学の学生が相互に刺激を受けながら演奏技術の向上と交流の深化を図ります。

これらの事業を通して、将来の音楽文化を担う若手演奏家の育成と、地域に根ざした音楽活動の発展に寄与します。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業

誰もがクラシック音楽を身近に楽しむことができる『KCH的クラシック音楽のススメ』では、シリーズ初となる声楽公演を実施します。日本を代表するソプラノ歌手の森谷真理とバリトン歌手の大西宇宙を迎え、愛を主題としたオペラ・アリアや歌曲を取り上げます。さらに、作品への理解を深めるため、コンサートに先立ち音楽学者によるレクチャーを開催し、音楽鑑賞の楽しみを多角的に提供します。

京都コンサートホール登録アーティスト制アウトリーチ事業『Join us (ジョイ・ナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～』では、令和8年度より第4期登録アーティスト2組を新たにオーディションにより選考し、2年間の活動を行います。1年目は市内の小中学校を中心に訪問演奏等を実施し、子どもたちが音楽に直接触れる機会を創出します。年度末には活動の成果を発表するジョイント・コンサートを行い、地域との文化的交流を深めながら、将来の聴衆の育成と若手音楽家の活動支援を図ります。

また、幼児からオルガンに親しむことができる『ポジティブオルガン体験講座』では、専門の演奏家を講師として招き、ホール独自の体験型プログラムを提供します。子どもたちが音楽に触れ、豊かな感性と創造性を育む契機となるよう、多様な音楽体験の機会を創出します。

6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催

京都コンサートホールでは、幅広い層の市民が音楽に親しみ、地域の賑わい創出につながる事業を継続的に実施しています。令和8年度もホール内外において多様な参加型プログラムを展開し、地域社会との結びつきを一層深めます。

平日11時開演のマチネコンサートである『京都北山マチネ・シリーズ』では、国内外で活躍する若手アーティスト4名によるトーク付き60分公演を実施します。また、令和7年度に好評を博した指揮者広上淳一と沼尻竜典によるピアノ連弾コンサートを特別回として再び開催し、幅広い聴衆に親しまれる公演を提供します。

北山エリアの各施設と連携して開催する『リレーコンサート』では、アマチュア音楽家に本格的な演奏機会を提供し、音楽を通じた市民交流の促進を図ります。さらに、1階エントランスホールで実施する入場無料の『京都コンサートホール・ロビーコンサート』により、誰もが気軽に立ち寄り音楽を楽しめる場を創出するとともに、京都ゆかりの音楽家の活動機会の拡充につなげます。

また、1階カフェにおいて館長によるトークイベント『音とことばと。』を引き続き開催し、多彩な3名のゲストとの対話を通して文化芸術への理解を深める機会を提供します。

新たな取組として、京都市山科区誕生50周年記念事業として京都市東部文化会館において『みんなのパーカッション・フェスティバル!』を開催します。本事業は0歳から入場可能なバリアフリーコンサートとして、障がいの有無にかかわらず誰もが安心して参加できる環境を整えます。人気打楽器奏者 嶋崎雄斗をはじめとする8名の演奏家によるコンサートに加え、手作り楽器のワークショップを実施し、来場者が主体的に音楽に関わる体験型プログ

ラムを提供します。さらに、地域の飲食店等とも連携し、音楽を通じて地域全体が一体となる参加型イベントとして実施することで、世代や立場を越えた交流の促進と地域の文化振興を図ります。

7 音楽芸術活動の支援

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成制度」を引き続き実施し、中学、高等学校の部活動や大学の交響楽団演奏会、若手音楽家による室内楽演奏会などを支援します。また、大学からのインターンシップや中学校での「生き方探究チャレンジ体験」などの受け入れを積極的に行ってまいります。

(参考) ホール利用助成制度の実績

| 年 度 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|-----|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 実 績 | 13事業 | 11事業 | 9事業 | 10事業 |

(参考) 京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

| 年 度 | 令和8年度 (計画) | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|-----|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 事業数 | 40事業 | 35事業 | 44事業 | 37事業 | 48事業 |
| 公演数 | 63公演 | 42公演 | 51公演 | 42公演 | 80公演 |
| 講座数 | 11講座 | 4講座 | 7講座 | 7講座 | 9講座 |

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和4年度はうち1事業1公演を中止。

II 受託事業

1 指定管理業務

京都コンサートホールは「世界レベルの音楽芸術の殿堂」としての機能を高めるとともに、より安心・安全で利便性の高い公共ホールとしての機能を高め、更なる利用の促進を図ってまいります。

2 施設管理の目標

京都コンサートホールの利用者の増加やホール利用助成制度の利用促進、リピーターへの営業活動等により利用料金収入増を目指します。

令和8年度の施設管理の目標については、現行の指定管理期間における選定時に提出した数値を基にしておりますが、直近で目標値以上の実績に達しているものについては、更なる上積みができるよう努めてまいります。

目標1 利用料金収入額 (単位：千円)

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ホール利用料金 | 238,166 | 211,856 | 202,873 | 228,317 |
| 駐車場利用料金 | 18,289 | 14,604 | 15,776 | 16,752 |
| 合計 | 256,455 | 226,460 | 218,649 | 245,069 |

目標2 入場者数 (単位：名)

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 入場者数 | 296,000 | 200,135 | 241,075 | 260,290 |

目標3 日数利用率 (単位：%)

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 大ホール | 69 | 73 | 68 | 80 |
| アンサンブルホールムラタ | 61 | 62 | 62 | 60 |

○上記稼働率を達成するために、特に平日利用を促進するための取組を行います。

- ・ 学校関係に対し、利用案内の送付・営業等を行います。
- ・ 定期的にホール利用促進会議を実施し、近隣ホールを利用する団体や関東・関西圏のプロモーター、改修等で休館するホールの利用者をリサーチし、ダイレクトメール等の営業活動を行うとともに、ホールをご利用いただいた皆様へ、後日、アンケートを兼ねたお礼状を送付し、リピーターの確保並びにニーズ把握に努めます。

3 お客様のサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上会議（CS会議）の推進

CS会議やレセプション・舞台担当会議を引き続き開催し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上に努めてまいります。

CS会議では、施設で働く全部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待に応える接客・応対を実施してまいります。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置

今年度も「理事長への手紙」を引き続き実施するとともに、施設の利用に関するご要望やご提案をお伺いするため、ホワイエやバックヤードにQRアンケートを設置します。また、施設を利用するすべての利用者（鑑賞者、主催者、来館者等）を対象にしたアンケート調査を実施し、皆様からいただいたご意見を参考に、これまで以上のサービスの向上に努めます。

(3) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでもいただくため、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や客席内にて鑑賞マナー向上を啓発するパネルをレセプションが掲示するなどして、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるよう、より良い環境づくりに努めてまいります。

(4) 施設管理体制の更なる強化

「防火・防災訓練」を行い、職員のみならず京都コンサートホールで働くすべてのスタッフの危機管理意識の向上を図りながら、利用者、観客等の安全確保を最優先にしつつ、快適な施設としての品質を確保するよう適切な維持管理を行います。開館後、30年が経過し施設の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、日常の設備運用や保守点検、備品管理等を適正に実施します。また、京都市による劣化度調査の結果を踏まえた大規模改修に向け、計画的かつ効率的な修繕や改修計画の実施に向けて取り組みます。

4 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

(1) 自主事業ラインアップの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業のラインアップを紹介するための年間パンフレットを発行し、ホールのファンを増やすとともに、施設利用促進や賛助会員等の獲得にもつなげていきます。

(2) 催物カレンダーの発行（毎月）

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業のほか、京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載した「京都コンサートホール コンサートガイド」を毎月発行します。ユニバーサルデザインに配慮した見やすいデザインで魅力的な情報をお届けすることで、チケットの販売促進につなげます。

(3) ホームページ等の充実

インターネットの利点を最大限に活かして、閲覧者に常に新鮮で充実した情報を発信し、画面構成や視認性にも十分配慮しながら、より分かりやすく関心を持っていただけるページづくりを行ってまいります。また、貸館に関するページについては、初めてホールを利用するお客様にも分かりやすく使いやすい構成にすることで、貸館利用の促進に繋がるページづくりを行ってまいります。

(4) 電子チケットの運用

電子チケットにすることで、窓口等でチケットを受け取る手間がなくなるなどのメリットをより広く発信してまいります。また、スマートフォンやパソコンから簡単に購入・管理できる利便性や、当日でもスムーズに入場できる点など、利用者の利便性を高めるサービスとして周知し、利用促進につなげてまいります。

(5) 学生、高齢者、障がい者等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

コンサートホールの自主事業における学生割引制度、シニア割引制度、障がい者割引制度を実施し、学生、高齢者、障がい者等が音楽を鑑賞しやすい環境を整備します。

(6) 広報力向上に向けた人材育成及び外部専門人材との連携

他ホール・劇場の広報担当スタッフや専門家を招き、年3回の広報レクチャー及び意見交換会を実施します。実務事例の共有や最新の広報手法の習得を通じて、職員一人ひとりの広報意識及び実践力の向上を図ります。

あわせて、SNS運用、デジタル広告、メディアリレーション強化等の分野において知見を深め、自主事業の集客力向上のみならず、将来的に、施設利用促進、賛助会員・寄附金等の外部資金獲得にもつなげてまいります。

(7) ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく、他のジャンルにも間口を広げ、多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、平日のホール利用率向上に努めます。

(参考) ウィークデーパッケージプラン事業数

| 年 度 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|-----|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 事業数 | 9事業 | 5事業 | 3事業 | 4事業 |

(8) 外部資金の獲得

主催事業の実施にあたっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めながら、賛助会員制度（5 各種会員制度等の運営（2）賛助会員制度の運営参照）を活用します。また、令和6年度より新設した「京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度」については、外部資金を獲得できるよう、積極的な企業訪問により更なる拡大を目指します。

(参考) 京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度獲得金額

| 年 度 | 令和5年度 実績 | | 令和6年度 実績 | | 令和7年度 (見込) | |
|-----|-------------|-------|-------------|---------|---------------|---------|
| 獲得数 | 20件 | 600万円 | 38件 | 1,010万円 | 48件 | 1,060万円 |

※ 獲得ベースで記載（収入については翌年度）

5 各種会員制度等の運営

(1) 「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」の会員数拡大に向けた取組

令和8年度も引き続き「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」の周知を図ります。会員を対象とした京都市交響楽団の練習風景の公開や、京都コンサートホール・ロームシアター京都の両施設のバックステージツアー、会員限定コンサートなど多彩なイベントを開催することで、新規会員の獲得に努めてまいります。

(参考) 会員数の推移

(単位：名)

| 会 員 制 度 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|------------------------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 京都コンサートホール・ ロームシアター京都Club | 3,003 | 3,486 | 3,768 | 4,270 |

(2) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員（サポーター・パートナー会員）制度を設けています。更なる会員制度の充実を図るため、従来税制上の優遇措置のあるコースに加えて、自主事業のチケット割引等の特典のあるコースと、ロームシアター京都限定で29歳以下の方向けのコースを令和7年度に新設しました。令和8年度も会員イベントや特典を充実させ、新規会員の獲得と継続してご支援いただけるよう努めます。

(参考) 会員数と寄付金額の推移

| 会 員 区 分 | 令和8年度 目 標 | | 令和6年度 実 績 | | 令和7年度 (見込) | |
|------------------|--------------|-------|--------------|-------|---------------|-------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| スペシャルサポーター (法人) | 1件 | 50万円 | 1件 | 50万円 | 1件 | 50万円 |
| サポーター (法人) | 28件 | 280万円 | 24件 | 210万円 | 22件 | 250万円 |
| スペシャルパートナー (個人) | 38件 | 152万円 | 25件 | 118万円 | 28件 | 135万円 |
| パートナー (個人) | 100件 | 200万円 | 42件 | 65万円 | 67件 | 134万円 |
| U 2 9 コ ー ス (個人) | 30件 | 18万円 | — | — | 6件 | 2万円 |
| 合 計 | 197件 | 700万円 | 92件 | 443万円 | 124件 | 571万円 |

6 施設運営の充実に向けた取組

京都コンサートホールの中長期的なホール運営や事業について助言をいただくことを目的として、文化芸術分野に加え、広報や経営、教育、行政、観光などの専門家による外部委員で構成した「京都コンサートホール運営協議会」を引き続き開催してまいります。

7 地域連携に向けた取組

北山地域の活性化に向け、地域で定期的開催されているミーティングに参加し、周辺施設との情報交換および情報共有に努めてまいります。あわせて、地域活性化事業である「北山あおいフェスティバル」にも積極的に参加し、地域との連携強化を図ってまいります。

■ 地域文化会館

(東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、北文化会館、右京ふれあい文化会館)

I 主催事業〔全48事業44公演25講座〕

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として、平成23年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」「アウトリーチ活動」などを引き続き実施し、文化芸術活動団体、行政、学校関係、地元の各団体等とのネットワークを強化し、文化芸術活動の育成や支援と情報受発信、地域イベントへの積極的な関与など地域との関わりを深め、地域の文化芸術の振興に努めてまいります。

1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催

各地域文化会館を拠点に活動しているパートナーシップ団体、行政、教育機関など、それぞれの代表者で構成された「地域文化芸術活動活性化協議会」を各地域文化会館に設置し、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への意見交換などを引き続き行ってまいります。地域に根差した意見を吸収できる環境を整え、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動・情報の受発信、事業の協働開催など、文化芸術の活動拠点として、より一層、地域に寄り添い活性化を図るとともに、魅力ある地域づくりに貢献してまいります。

2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の5つの視点を重視した文化事業を実施します。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業

京都市から委託を受けて取り組んできた「フランチャイズ(活動拠点)化事業」を、平成23年度から「文化芸術活性化パートナーシップ事業」と名称変更し、財団の自主事業として実施しています。本事業では、文化会館が地域の文化芸術の拠点であることを意識した鑑賞型の「無料公演」と、地域の子どもたちを対象とした「教育プログラム」の実施のほか、18歳以上を対象とした「おとなプログラム」や、引き続き「アウトリーチ活動」にも積極的に取り組みます。また、地域の教育機関や福祉施設等と連携し、文化芸術の社会包摂機能の更なる活用や、地元の文化芸術団体と連携した文化芸術活動の活性化やネットワークの強化と拡大を図ってまいります。

(参考) 令和8年度パートナー団体

| 文化会館名 | パートナー団体 |
|------------|--------------------------|
| 東部文化会館 | 京都橘大学吹奏楽部 |
| 呉竹文化センター | 京・伏見音楽サークル和音 |
| 西文化会館ウエスティ | 特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団 |
| 北文化会館 | 合唱団「葡萄の樹」 |
| 右京ふれあい文化会館 | 吹奏楽団「雅」 |

(2) 地域における文化芸術普及事業

ア 音楽芸術文化の紹介

広く市民に音楽芸術を紹介し、地域の文化芸術の振興を目的とした公演を開催します。北文化会館では、昨年度に引き続きジャズに注目し、海外で活躍するプロの演奏家による公演「エスペン・バルグ×マティアス・アイク デュオ JAPAN TOUR 2026」を開催します。

イ 伝統的芸術文化の紹介

伝統音楽・伝統芸能を文化会館が広く市民に紹介し、理解と支援、継承の機運形成の一助とすることを目的とした公演やワークショップを開催します。東部文化会館ではわかりやすい解説とワークショップを交えた「伝統芸能「地域みんなの狂言鑑賞会」(仮称)」、西文化会館ウエスティではプロの噺家による質の高い伝統話芸「ウエスティ寄席」、右京ふれあい文化会館では小学生等を対象とした雅楽体験会「みんなワクワク！雅楽の世界へ」を開催します。

ウ アウトリーチ事業

地域文化会館5館で、市民の文化芸術活動の活性化や地域の文化芸術の振興を目的として、地域文化会館に登録している協力団体(文化芸術活動団体)が地域の各団体、学校、福祉施設などからの依頼により、ミニコンサートやワークショップ等を行う「アウトリーチ事業」に積極的に取り組みます。

(3) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と連携した「ウエスティ音暦(おとごよみ)」(2公演)を西文化会館ウエスティで、また、「京都市立芸術大学 文化会館コンサート」を北文化会館で開催し、才能ある若い世代の活動を支援します。また、東部文化会館では、京都橘大学と連携し、文化芸術の振興に寄与する人材の育成を目的とした「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を引き続き実施します。

イ 子どもを対象とした体験型事業

次世代の文化芸術活動を担う子どもたちが、多様な芸術表現や劇場に触れ豊かな感性と創造性を身につけるための事業として、東部文化会館で「子どもたちのためのアート×デザイン～自分の名前から考える 伝わるピクトグラムづくり～」、「子どもたちのためのアート×サイエンス～身の回りのもので電気を発生させてみよう！～」を、呉竹文化センター・西文化会館ウエスティ・右京ふれあい文化会館の3館で、劇場・舞台の裏側を体験し学ぶことができるバックステージツアーを実施します。

(4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

ア 市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、「市民創造ステージ」を北文化会館で開催します。

また、東部文化会館では、地域との連携・協働による参加型事業として、地域のコーラスサークルによる発表や交流の場とする「第21回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催するほか、京都コンサートホールと連携し、誰もが楽しむことのできる参加型のバリアフリーコンサートやワークショップ等、地域住民らの協力のもと山科区誕生50周年記念を祝う、全館を利用した特別イベント「みんなのパーカッション・フェスティバル（仮称）」を開催します。

イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援

西文化会館ウエスティでは地域ネットワークを活用し、地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し、地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上への支援を行う「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催します。

ウ 地域における文化芸術の普及を支援

右京ふれあい文化会館では、右京区の太秦に映画撮影所があることから、「京都・太秦キネマのまち」と題して、キネマの町に因んだ世紀の名優の映画を2作品上映や出演俳優の関係者によるステージ・トークを実施するほか、新たな取り組みとして、京北地域の文化芸術振興や子どもたちと地域住民の交流の場をつくることを目的としたパーカッションコンサートを行います。

エ 創作文化の作品展示

賑わいスペースの創出として、東部文化会館では「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターでは「くれたけミニギャラリー」、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ ギャラリー」、北文化会館では「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館では「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催します。

オ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートでの照明・音響演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを行います。

(5) 施設間の交流事業

ア 鑑賞型事業の実施

市民が京都市交響楽団を通じて、気軽にクラシック音楽を楽しめるように、京都市交響楽団のメンバーによるクラシック音楽のコンサート「ちょっと素敵な朝からクラシック」を、呉竹文化センターにおいて2公演を開催し、北文化会館では「京都市交響楽団員による室内楽演奏会（仮称）」を開催します。

また、京都市交響楽団と連携し、文化会館5館において低料金で0才から入場できる「ZERO歳からのみんなのコンサート」の開催や、市民が生演奏に触れ、気軽にクラシック音楽に親しむ機会を提供するアンサンブルコンサートを開催します。

イ 未就学児向けの公演の実施

地域文化会館5館とロームシアター京都との連携事業として、劇場に初めて訪れる「シアターデビュー」を楽しい体験にし、より多くの人たちが劇場に足を運ぶことができる環境づくりと、子どもを対象とした良質な舞台作品を生み出すこと、作品作りに関心を持つアーティストやスタッフを増やすことを目的に、各館で子ども向けの舞台芸術体験を創出するワークショップを開催するなど、子どもたちの創造性を豊かにするとともに、芸術を身近に感じる作品上映を実施します。

ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都コンサートホールとの連携事業で京都市交響楽団が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」については、音楽活動を充実させるため、練習会場として各地域文化会館を活用するとともに、活動内容の情報を発信するなど、若いオーケストラを支える環境づくりを行います。

また、呉竹文化センターでは、「京都市ジュニアオーケストラ ミュージック・サマー・コンサート」を開催します。

エ 京響コーラスの活動支援

京響コーラスの練習会場として文化会館での利用支援や練習公開を実施することで、京響コーラスのレベルアップと地域の文化振興を図ります。

(参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

| 年 度 | 令和8年度 (計画) | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|-----|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 事業数 | 48事業 | 53事業 | 45事業 | 41事業 | 45事業 |
| 公演数 | 44公演 | 59公演 | 55公演 | 51公演 | 57公演 |
| 講座数 | 25講座 | 7講座 | 5講座 | 5講座 | 10講座 |

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和4年度はうち1事業2公演、令和5年度はうち3事業3公演を中止。

II 受託事業

1 指定管理者業務

地域文化会館の指定管理者として、地域の皆様に文化芸術を核にした「豊かなくらしの実感」を提供するとともに、地域の多彩な文化的活動の拠点としての機能を発揮し、更なる利用の促進を図ります。

2 施設管理の目標

施設の利用促進のための営業活動や国等による助成金の確保にも努めます。令和8年度の施設管理の目標については、現行の指定管理期間における選定時に提出した数値を基にしておりますが、直近で目標値以上の実績に達しているものについては、更なる上積みができるよう努めてまいります。

目標1 利用料金収入額

(単位：千円)

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 東 部 文 化 会 館 | 33,427 | 29,019 | 27,458 | 28,771 |
| 呉竹文化センター | 40,623 | 40,093 | 43,028 | 45,431 |
| 西文化会館ウエスティ | 33,867 | 29,516 | 27,746 | 28,056 |
| 北 文 化 会 館 | 40,807 | 37,013 | 38,345 | 37,252 |
| 右京ふれあい文化会館 | 36,725 | 35,827 | 38,731 | 41,545 |

目標2 日数利用率

(単位：%)

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 東 部 文 化 会 館 | 64 | 59 | 55 | 58 |
| 呉竹文化センター | 75 | 74 | 79 | 82 |
| 西文化会館ウエスティ | 62 | 61 | 55 | 55 |
| 北 文 化 会 館 | 80 | 77 | 75 | 74 |
| 右京ふれあい文化会館 | 69 | 71 | 64 | 70 |

以上、各施設の規模、立地条件、地域との連携等を活かした事業を企画し、各種文化芸術活動団体、教育機関、京都市交響楽団との連携をより一層深めながら、文化芸術の振興・発展を目指すとともに、サンキューレターの活用による利用者のリピート率向上を図り、これまで以上に集客及び増収に取り組んでまいります。

3 お客様のサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS会議）の推進【再掲】

京都コンサートホール（7ページ）参照

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」【再掲】

京都コンサートホール（7ページ）参照

4 集客のための取組

(1) 地域文化会館割引制度

地域文化会館の平日のホール利用の促進や、追加利用に対するサービス向上を図るため、引き続き平日直前利用割引制度と平日連続区分利用割引制度を実施します。

(参考) 地域文化会館割引制度利用数 (単位: 件)

| 平日直前利用割引 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|-----------------|-------------|---------------|
| 東 部 文 化 会 館 | 7 | 2 |
| 呉 竹 文 化 セ ン タ ー | 6 | 4 |
| 西文化会館ウエスティ | 2 | 3 |
| 北 文 化 会 館 | 3 | 0 |
| 右京ふれあい文化会館 | 10 | 10 |
| 計 | 28 | 19 |

| 平日連続区分利用割引 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|-----------------|-------------|---------------|
| 東 部 文 化 会 館 | 47 | 43 |
| 呉 竹 文 化 セ ン タ ー | 71 | 67 |
| 西文化会館ウエスティ | 28 | 28 |
| 北 文 化 会 館 | 85 | 45 |
| 右京ふれあい文化会館 | 66 | 54 |
| 計 | 297 | 237 |

■ ロームシアター京都

I 主催・共催事業〔34事業69公演11講座〕

ロームシアター京都は、令和8年1月にリニューアルオープンから10周年を迎えました。これを記念し、令和8年12月までの期間、「つづきのはじまりはじまり」をキャッチコピーに掲げ、各種記念事業を引き続き実施します。10年の節目を機に、今後も劇場文化の創出に一層努めます。自ら舞台芸術作品を企画・制作するシリーズや、他の劇場と共同で海外から優れた舞台作品を招聘するなど、作品の背景や見どころへの理解を促し、鑑賞体験の充実を図ります。さらに、地域文化会館、東山青少年活動センター、京都芸術センターなど、市内の文化施設と連携し、京都における文化芸術のハブとしての機能向上を図る事業を実施します。事業構成においては、「つながり（交流）」を全事業に包含する要素として位置づけ、「つくり（創造）」「育て（育成）」「活かす（生活）」の有機的なサイクルを形成します。また、貸館利用者に向けて10周年に合わせた連携事業の募集を行い、京都における舞台芸術の拠点としての盛り上がりや、令和7年度に引き続き創出します。

1 交流事業

令和8年度も「京都と世界がつながる」「京都から世界へ広がる」交流拠点として、創造発信の機能を高めます。まずは、令和7年度に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した世界的振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと、気鋭の振付家ラドワン・ムリジガが、ヴィヴァルディ《四季》を起点に創り出すダンス公演を招聘します。緻密な音楽分析をもとに振付を構築するケースマイケルと、沈黙の中から動きを立ち上げるムリジガ、4人のダンサーによる跳躍、旋回、回転は、天体の軌道や生命の循環と呼応するように展開します。約300年前の地中海から響く自然賛歌の楽曲と共に、作品はその構造と身体との関係を更新しながら、いま私たちが直面する「気候変動」の現実を詩的に問いかけます。さらに、リトアニアから現代オペラ・パフォーマンス『HAVE A GOOD DAY!』を招聘します。本作は、10人のレジ係とスーパーマーケットの環境音、ピアノによって構成され、日常の中で機械的に交わされる挨拶や笑顔の背後にある、働く人々の内面や小さな物語を浮かび上がらせてます。無機質なレジ業務の反復を起点に、消費社会の構造や労働の感覚を、ユーモアやアイロニー、詩性を交えて描き出す作品として、国際的にも高い評価を受けてきました。これら世界水準の作品上演を通じて、「文化の殿堂」としての存在感を発揮し、海外との交流促進を図ります。

2 創造事業

「創造事業」では、京都ゆかりのアーティストが次々と登場します。まず、創立70周年を迎える京都市交響楽団との共同プロジェクトを2公演実施し、京都の豊かな音楽文化資源を最大限に活かしたステージを展開します。12月に実施する「ブリテン：春の交響曲」では、没後50年を迎える作曲家の命日に、ダンサー東野祥子、康本雅子とオーケストラによるコラボレーションをお届けします。また、京都が世界に誇るマルチメディア・パフォーマンス・

アート集団、ダムタイプによる『2020』は、当初令和2年3月に当劇場で初演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。記録映像の公開はありましたが、有観客での上演はこれまで行われておらず、今回は悲願の上演となります。さらに、長年京都を拠点に活動する劇団MONOの土田英生による、京都を舞台とした新作朗読劇を上演します。一般公募によるオーディションを経て、幅広い年齢層の出演者が参加します。

劇場の財産となるレパートリー作品の創出を目的とする「レパートリーの創造」では、若手演出家の和田ながら、野村真人、西田悠哉が新作を発表します。同シリーズで令和6年に創作された市原佐都子『キティ』の国内ツアー公演も予定しており、ロームシアター京都の制作作品が国内外から注目を集めています。この「レパートリーの創造」や音楽シリーズ「Sound Around」などを通じ、ロームシアター京都を創造の拠点として機能させ、ここから新たな舞台芸術を発信してまいります。

3 育成事業

「育成事業」として、「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 プッチーニ:『蝶々夫人』」、京都芸術センターとの連携事業「U35創造支援プログラム“KIPPU”」を実施し、交流や育成の場としての機能を果たしてまいります。また、10代を対象とした人材育成事業「劇場の学校」や劇場の仕事体験「未来のわたし」も継続します。

4 生活事業

多彩なライフスタイルを享受する「生活事業」として、「プレイ！シアター in Summer 2026」、「OKAZAKI PARK STAGE 2026」など、ホールを飛び出して行う幅広い事業で、ロームシアター京都ならではの「劇場文化」を醸成してまいります。さらに、ミュージックサロン事業や賑わい事業者と連携した取組等により、施設や岡崎地域の新たな魅力の創出や価値の向上に努めてまいります。

5 賑わいスペース事業

パークプラザには、飲食をしながら読書などができるブック&カフェや、催物前後の語りを楽しむことのできるレストラン等があり、また、岡崎公園ともつながるローム・スクエアやロビー等では、マルシェなどの野外イベントや芸術作品の展示等を通じて子どもから大人まで楽しめる空間が広がっており、様々な人々が日常的かつ継続的にロームシアター京都に足を運ぶサイクルが生まれています。

ロームシアター京都が舞台芸術にとどまらず、多くの方の交流の場となり、岡崎エリアの賑わいの一翼を担っていくために、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、ホールでの催物に加えて日常的にさまざまなサービスやイベントを展開していきます。

(参考) 賑わいスペースを活用した事業内容等

| 事業内容 | 店舗名称 | 営業時間※ |
|---------------------------------|-------------------|-------------------------------|
| ブック&カフェ (パークプラザ1階) | 京都岡崎 蔦屋書店 | 午前10時から午後8時 |
| | スターバックスコーヒー | 午前8時から午後10時 |
| レストラン (パークプラザ2階) | 京都モダンテラス | 午前11時から午後10時 |
| キオスク (サウスホール1階ホワイエ内) | 自動販売機コーナー | 午前8時から午後8時 |
| ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー) | BOOK&ART GALLERIA | 午前10時から午後5時※ (開館時間等に応じて変更) |

※臨時休館等により変更の場合あり。

6 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」(パークプラザ3階)を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営します。

「ミュージックサロン」は、①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②セミナー、講演会、コンサート等の文化芸術イベントを開催する施設として運営しています。令和8年度は、ロームシアター京都でのオペラ公演に関連する特別展示等を開催するとともに、令和7年度より開始した「劇場の音楽室」を引き続き実施してまいります。

(参考) ロームシアター京都における事業・公演数の変遷

| 年 度 | 令和8年度 (計画) | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 | 令和7年度 (見込) |
|-----|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 事業数 | 34事業 | 38事業 | 43事業 | 39事業 | 37事業 |
| 公演数 | 69公演 | 117公演 | 117公演 | 103公演 | 69公演 |
| 講座数 | 11講座 | 18講座 | 14講座 | 18講座 | 7講座 |

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和4年度は1事業1公演を中止。

II 受託事業

1 指定管理業務

各施設の特徴を活かした施設利用が行われるよう、充実した設備や立地、また施設としての知名度を活かした集客の可能性や実績等により、従前の利用者にもこれまで通り利用していただきながら、MICEなども含めた新たな利用の促進も引き続き図ってまいります。

また、的確な利用調整や各種指標に基づく施設管理等による効率的で効果的な施設運営を行い、あわせて利用料金収入の確保に努めます。

2 施設管理の目標

ロームシアター京都中間評価委員会からの助言を踏まえ、令和4年度に「ロームシアター京都（京都会館）の中間評価及び後半4年間の事業計画書等」を策定した目標を基に設定していますが、直近で目標値以上の実績に達しているものについては、更なる上積みができるよう努めてまいります。

（1）施設利用促進に向けた営業活動

各施設の特徴やこれまでの実績等を踏まえ、本格的な総合舞台芸術公演等を積極的に誘致するとともに、市民の文化活動の発表の場として各施設の特徴が最大限発揮されるような利用を促進していきます。また、利用者への各種サポート等により利便性の向上に努め、繰り返しロームシアター京都を利用していただけるよう努めてまいります。

（2）MICE誘致に向けた関係機関との定期的な協議

多彩な文化・交流施設が集積し、国の「重要文化的景観」にも選定された岡崎エリアにおいて、より質の高いMICEの開催が可能となることをPRするとともに、MICE等の誘致・対応に向けて、京都市及び京都文化交流コンベンションビューロー、みやこめっせ、京都市京セラ美術館等との情報連携を強化し、様々なニーズに応えていきます。

目標1 利用料金収入額

（単位：千円）

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ホール等利用料金 | 379,994 | 343,413 | 339,363 | 361,511 |

目標2 入場者数

（単位：名）

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 入場者数 | 400,000 | 332,861 | 352,568 | 356,716 |

目標3 日数利用率

(単位：%)

| 区分 | 令和8年度 目標 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 実績 | 令和6年度 実績 |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| メインホール | 81 | 82 | 77 | 77 |
| サウスホール | 80 | 73 | 79 | 74 |
| ノースホール | 72 | 78 | 78 | 73 |

- 特にサウスホールの平日利用を促進するため、長期間利用に係る割引制度や、法人等の利用者にわかりやすい料金体系を設けるなど、新たな試みを実施します。
- 関西圏・首都圏の主要プロモーター・プロダクションや、京都府・京都市内の教育機関、文化団体への営業活動等を実施します。
- ノースホールについては、オーケストラ、吹奏楽、合唱等の練習・リハーサル会場として、通常利用料金より安価にご利用いただける制度を継続し、練習から本番への利用に結び付けていきます。
- 京都・岡崎地域で開催される特別な催事への対応力を向上します。

3 お客様のサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上会議（CS会議）等の推進

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS会議等を開催し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、利用者の期待に応える接客・応対を実施してまいります。

特に、高齢者や障害のある方、外国人等に配慮した設備・運用両面でのアクセシビリティの向上に努めます。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール（7ページ）参照

(3) 賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を確実に行うことで、施設全体として円滑な連携のもと、サービスの向上に努めます。

(4) 施設管理体制の更なる強化

利用者、観客等の安全確保を最優先にしつつ、快適な施設としての品質を確保するよう適切な維持管理を行います。施設や各種機器の特性などを踏まえ、光熱水費の抑制にも取り組みながら利用状況や季節変動等に応じた設備運用や保守点検、備品管理などを工夫し、よりの確で効率的な施設運営に努めます。また、各種マニュアルの更新や場内サービス業

務等の研修、施設全体に係る防災訓練等を引き続き実施することで、安心・安全で快適な劇場空間を提供してまいります。

開館10年を経て、施設・設備も補修や修繕が必要となり始めていることから、京都市とも連携し、計画的かつ、適切な修繕の実施、また、今後の修繕計画の策定に取り組みます。

4 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

催物カレンダーや事業ラインアップの発行、ホームページやSNSの運用、貸館の広報、会員制度の運用及び事業実施等にあわせた話題づくり等により、効果的な広報・宣伝を展開し、ロームシアター京都への期待感を引き続き高めていくとともに、近代モダニズム建築としての魅力を発信するなど、劇場の認知度をさらに向上させてまいります。

また、京都コンサートホールと共通のチケット販売システムの運用を行い、市民サービスの向上に努めます。

(1) 自主事業ラインアップの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のラインアップを紹介するためのリーフレットを発行し、ロームシアター京都のビジョンを提示することで、各事業への理解を深め、個々の事業への集客に加え、劇場のファンとなる賛助会員の獲得等にもつなげていきます。

(2) 催物カレンダーの発行（毎月）

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか、ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載した「ロームシアター京都 イベントカレンダー」を毎月発行し、集客やチケットの販売促進につなげます。

(3) ホームページ等の充実

ホームページについては、平成27年度に開設し、アクセスの分析等を踏まえた掲載情報の更新、閲覧や掲載作業に係るシステムの更新等を重ねてきました。特設サイトやSNS等のコンテンツを活用するなど、引き続き閲覧しやすく使用しやすいものとなるよう工夫を図ってまいります。また、ロームシアター京都の自主事業の魅力や作品背景を紹介するプラットフォームとして、WEBマガジン「Spin-Off（スピノフ）」をホームページ上で公開し、上演の場所としてだけでなく、思考するメディアとしてのロームシアター京都の姿を蓄積していきます。

(4) 電子チケットの運用【再掲】

京都コンサートホール（8ページ）参照

(5) 外部資金の獲得

主催事業の実施にあたっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めます。さらには、賛助会員制度（9ページ 5 各種会員制度等の運営（2）賛助会員制度の運営 参照）の拡充を図ります。

5 各種会員制度の運営

(1) 「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール（9ページ）参照

(2) 賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール（9ページ）参照

6 施設運営の充実にに向けた取組

ロームシアター京都の中長期的なビジョンやミッションに対して助言をいただくことを目的とした「ロームシアター京都運営懇談会」、京都で活動する舞台芸術関係者・団体との繋がりを構築していく事を目的とした「ロームシアター京都舞台芸術懇話会」をそれぞれ開催し、助言や繋がりを生かしながら施設運営の更なる充実を図ります。

7 貸館利用者と連携した10周年記念事業の取組

リニューアルオープンから10周年を迎え、記念事業の一環として貸館利用者に向けて「ロームシアター京都10周年連携事業」を募集し、チラシに連携事業ロゴを掲載いただくなど貸館利用者とも連携して10周年を盛り上げます。

■ 京都市交響楽団

昭和31年（1956年）に全国唯一の自治体直営オーケストラとして発足した京都市交響楽団は、市民の支えのもと発展を続け、日本屈指のオーケストラとして高い評価を得ています。

創立70周年を迎える令和8年度は、「イズムに誘う（いざなう）」をテーマに掲げ、作曲家の思想や作品の魅力に迫る多彩なプログラムを展開します。

第14代常任指揮者沖澤のどか、首席客演指揮者ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを中心に、多彩な客演指揮者及び国内外で活躍するソリストと共に、幅広いレパートリーをお届けします。

また、創立70周年の中心事業として、沖澤のどかの指揮によるプロコフィエフ交響曲全曲演奏「プロコフィエフの陣（全3回）」を実施します。

併せて、定期演奏会への市民招待や友の会の皆様への感謝の意を込め、「京響友の会スペシャルサンクスコンサート」を開催するとともに、「京（みやこ）の音楽会」などのアウトリーチ事業やリハーサル公開を継続し、市民により身近なオーケストラとしての取組を進めます。

さらに、第九コンサート及びニューイヤーコンサート、大阪及び名古屋公演などを通じて、京響の魅力を広く発信します。

このほか、オーケストラ入門として親しまれる「オーケストラ・ディスカバリー」や、0歳から入場可能な「ZERO歳からのみんなのコンサート」も開催し、新たな京響ファンの獲得及びクラシック音楽の普及を図ります。

今後も京都市交響楽団ビジョンに基づき、これまで培ってきた財産を継承しながら、新たな時代を見据えて果たすべき役割を自覚し、更なる発展を目指してまいります。

I 主催・共催事業〔29事業60公演〕

1 定期演奏会

常任指揮者沖澤のどかによる「イズム」シリーズでは、「リヒャルト・シュトラウス」「ジャポニズム」「アメリカン」「ストラヴィンスキー」など多彩なテーマを取り上げるとともに、京響の委嘱作品の再演や女性作曲家の優れた作品も紹介します。首席客演指揮者ヤン・ヴィレム・デ・フリーントとはシューベルトの探求をさらに深化させます。

また、若手有望株のアレナ・フロン（チェコ）を迎えドヴォルザークに取り組むほか、多彩な客演指揮者陣と共にマーラーやブルックナーといった大作から北欧音楽まで幅広いレパートリーを展開し、京響の豊かな表現力を活かした演奏をお届けします。

さらに、世界的ヴァイオリニストの五嶋みどり、神尾真由子をはじめ、令和6年度文化勲章を受章したチェロ奏者堤剛、ウィーン・フィルで活躍するファゴット奏者ソフィ・デルヴオー、第12回浜松国際ピアノコンクール優勝の鈴木愛美など、国内外で活躍する多彩なアーティストが登場します。

2 特別演奏会

恒例のスプリングコンサート、第九コンサート及びニューイヤーコンサートを開催し、充実した出演者と心躍る楽曲により、時節を彩る演奏をお届けします。

3 特別演奏会（市外公演）

常任指揮者沖澤のどか指揮のもと、大阪及び名古屋において特別演奏会を開催し、日本屈指の演奏力と評される京響の知名度や評価の全国区での更なる浸透を図ります。

4 オーケストラ・ディスカバリー

テーマを「京響70周年スペシャル」とし、名曲の演奏と楽しいトークを通じてオーケストラやクラシック音楽の魅力を紹介する演奏会をロームシアター京都で開催します。

本事業を通じて、青少年の情操の向上や健全な心の育成を図るとともに、若い世代へのオーケストラの振興と普及を一層推進します。また、友の会会員への導入コンサートとしても位置付けています。今後は、同シリーズに加え、一段上の年代を対象とするコンサートの創設に向けた検討を進め、令和9年度以降の実施を目指してまいります。

5 ZERO歳からのみんなのコンサート

地域文化会館を会場に低料金で入場できる演奏会を開催し、日頃クラシック音楽に接する機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供します。これにより、地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及及びファン層の醸成並びに京響ファンの拡大を図ります。本公演は対象年齢を0歳からに統一しており、御家族そろってオーケストラの魅力をお楽しみいただける内容としています。

6 地域文化会館との連携事業等

地域文化会館が実施するアウトリーチ事業に協働で取り組み、地域の文化芸術の振興を図ります。

7 共催事業

京都市の小・中学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催し、クラシック音楽の普及及びファンの醸成、若年層の京響ファンの獲得を図ります。また、新たな取組として、小学生のための音楽鑑賞教室の一般公開公演を実施します。

8 70周年事業

記念事業については、「市民と共にあるオーケストラ」、「京都の音楽芸術文化をつくるオーケストラ」、「ワールドクラスのオーケストラ」の3つの柱を掲げ、令和7年度から9年度までの計3箇年事業として展開しています。

中心事業として、プロコフィエフの交響曲を全曲演奏する「プロコフィエフの陣（全3回）」を実施します。プロコフィエフの交響曲全7曲を、常任指揮者沖澤のどかの指揮により1年間で演奏するチクルスは、国内外においても例の少ない取組であり、京響の新たな歴史を刻む挑戦として実施します。

併せて、市民還元の一環として、これまで京響を支えていただいた市民の皆様への感謝の取組として、定期演奏会金曜公演に市民を招待します。

また、アウトリーチ事業「京（みやこ）の音楽会」を実施するなど、より多くの市民が音楽に触れる機会の充実を図ります。

さらに、開館10周年を迎えるロームシアター京都との共同事業も実施し、文化芸術都市京都の魅力を高める取組を推進します。

<市民招待スケジュール>

- ① 5月定期（5/15） 北 区60名、中京区60名
- ② 8月定期（8/28） 上京区50名、左京区90名
- ③ 9月定期（9/18） 山科区70名、南区60名
- ④ 10月定期（10/9） 伏見区150名
- ⑤ 2月定期（2/19） 西京区80名、下京区40名
- ⑥ 3月定期（3/19） 東山区20名、右京区100名 合計780名

9 アウトリーチ事業

市民が京響の音楽をより身近に感じられる機会の充実を目的として、楽団員によるアンサンブル演奏等を市内各所で実施する「京（みやこ）の音楽会」をはじめとするアウトリーチ事業を引き続き展開します。

日頃クラシック音楽に触れる機会の少ない層にも生の演奏に親しんでいただく機会を提供し、地域における文化芸術の振興及びクラシック音楽の普及を図ります。

10 リハーサル公開

定期演奏会に先立ち、京都コンサートホールにおけるホールリハーサルの一部を一般公開し、本番に向けた音楽づくりの過程を市民に公開する取組を継続して実施します。

本事業を通じて、京都コンサートホールを市民に開かれたホールとして実感していただくとともに、京響をより身近に知っていただく機会の創出を図ります。

11 その他事業

京都市ジュニアオーケストラへの演奏指導、中学生や高校生を対象とした楽器講習会、京響コーラスの運営など、京都に根差した音楽活動を通して、京響を市民に身近に感じていただく活動や将来の音楽文化の担い手の育成などにも取り組みます。

II 京響友の会

令和8年度については、定期会員（土曜・金曜）、特別会員を含む通年会員及び半期会員（前期・後期、土曜・金曜）は前年同様の会員形態を継続します。併せて、4枚分のチケットを自由にカスタマイズできるセレクト・セット会員も引き続き実施します。

法人会員につきましても、前年同様、チケット会員に加え、スポンサー会員制度及び寄付会員制度を設け、京響が世界水準の音楽を通じて京都の文化芸術を牽引するとともに、音楽を通じた京都のひと・まちづくりを推進していくための支援及び協力を求めてまいります。

また、日頃から京響を支えてくださる友の会の皆様に感謝の意を込め「京響友の会 Special Thanks コンサート」を開催いたします。

III 受託事業

依頼に応じて、京都市内の演奏会に加え、京都府下（綾部市）や、滋賀県（大津市、守山市）、大阪府（大阪市、茨木市、堺市）、兵庫県（西宮市）、広島県（福山市）、東京都（港区）、徳島県（徳島市）、岡山県（津山市）など市外の演奏会にも出演するとともに、引き続き、関係団体・企業等へ働きかけ、派遣演奏（アンサンブル演奏）を行うなど、更なる演奏活動を展開してまいります。

■ その他

I 組織人員体制・配置等の最適化

令和8年度についても、業務効率や生産性の向上に取り組みつつ、適正な人員体制の確保に努めます。これまで蓄積してきた専門知識・ノウハウを継承し、キャリアの浅い職員からベテランまで、各職員の能力を十分に発揮・伸張させることで組織の活力の向上を図ります。

また、中長期的な人員配置の方向性について引き続き分析を続け、適切な人員の確保に努めます。

II 働きやすい職場づくりの推進

どのような雇用形態の職員にとっても働きやすい職場環境づくりに引き続き努めるとともに、職員の意欲・能力を適切に評価し、積極的な登用を行ってまいります。

また、人事・給与制度について、有為な職員の確保や昨今の最低賃金の上昇などを踏まえ、社会情勢に見合った制度の見直しに向けた検討を進めてまいります。

さらに、令和8年度についても引き続き、年次有給休暇の取得の推進や時間外労働の抑制の推進を行うとともに、実態に即した勤務形態の見直し等、柔軟な働き方を検討してまいります。

III 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、社会的要請や環境変化に対応して、より自立的・安定的な組織運営力を発揮していくために必要な研修を実施してまいります。

また、幅広い知識・課題解決力の向上等、更なるスキルアップを図ることを目的として、民間企業等が実施する研修への参加を推進し、次世代のリーダーを育成してまいります。

IV 環境への配慮

当財団は、平成20年のKES（京都市環境マネジメントシステム・スタンダード）認証の取得以後、毎年再認証を取得しています。

令和8年度も、職員全員が環境マネジメント活動を推進し、地球環境との調和を目指し、積極的な節電対策など環境に配慮した会館運営を行います。

また、リサイクル促進について、利用者から発生する缶・ビン・ペットボトルなど、ゴミの分別廃棄を徹底するとともに、業務上発生する印刷書類等裏側の再利用やリサイクル紙の購入等をはじめとするグリーン調達を行います。

設備・備品調達や外部委託発注においても、グリーン調達及び委託業者の環境配慮動向を見極めた発注を行うように努めます。

さらに、エネルギー削減を行うため、会館内の適正冷暖房の設定及び不必要な電灯の消灯等の取組を徹底してまいります。

V ファンドレイジング及びICT環境整備による財務の合理化の推進

より安定的な財源の確保を目指して、公的、民間を問わず外部資金の獲得の強化に努めます。また、ICTの活用により、顧客サービスの向上と事務作業の負担軽減の両立を目指し、財務の合理化を引き続き、推進してまいります。

VI 「中期経営計画2029」及び「京都市交響楽団ビジョン」の運用、進捗管理

当財団では中長期的な視点に立った経営を推進していくために、中期経営計画を策定し、これに基づき事業を展開しています。

中期経営計画2029（計画期間：令和8年度～令和11年度）に掲げる5つの経営方針の推進に向けて、取り組んでまいります。

また、令和元年度に策定した「京響ビジョン」の5つの戦略の推進に関し、それぞれ掲げる目標について財団全体で進捗管理を行い、目標の達成に向けて引き続き、取り組んでまいります。

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場として運営してまいります。

駐車場目標収入額

| 施設 | 令和6年度実績 | 目標収入額 |
|------------|-------------|-------------|
| 京都コンサートホール | 16,752,410円 | 18,289,000円 |
| 東部文化会館 | 3,651,100円 | 4,029,000円 |
| 西文化会館ウエスティ | 5,018,200円 | 5,096,000円 |
| 右京ふれあい文化会館 | 6,397,900円 | 4,366,000円 |
| 計 | 31,819,610円 | 31,780,000円 |

※ 目標収入額については、現行の指定管理期間における選定時に提出した数値としておりますが、直近で目標額以上の実績に達している施設については、更なる上積みができるよう努めてまいります。

2 オリジナルグッズ等販売

京都コンサートホールオリジナルグッズや京響オリジナルグッズ等を販売してまいります。

オリジナルグッズ等目標収入額

| 項目 | 令和6年度実績 | 目標収入額 |
|------------|------------|------------|
| 京都コンサートホール | 545,353円 | 500,000円 |
| ロームシアター京都 | 481,200円 | 500,000円 |
| 京都市交響楽団 | 957,730円 | 3,000,000円 |
| 計 | 1,984,283円 | 4,000,000円 |

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売します。

入場券販売業務受託収入の目標収入額

| 施設 | 令和6年度実績 | 目標収入額 |
|------------|-------------|-------------|
| 京都コンサートホール | 15,720,924円 | 18,000,000円 |
| 地域文化会館 | 170,380円 | 143,000円 |
| ロームシアター京都 | 12,234,624円 | 13,000,000円 |
| 計 | 28,125,928円 | 31,143,000円 |

4 レンタルロッカーの運営（地域文化会館）

定期的に施設を利用いただく利用者をはじめとした、利用者サービスの向上を目的として、施設利用の際に使用する道具類を施設内に保管するための「レンタルロッカー」の運営を、令和7年度から開始しました。令和8年度についても引き続き、定期貸し出しを行います。

レンタルロッカー利用の目標収入額

| 施 設 | 目標収入額 |
|------------|----------|
| 東部文化会館 | 106,000円 |
| 呉竹文化センター | 106,000円 |
| 西文化会館ウエスティ | 106,000円 |
| 北文化会館 | 106,000円 |
| 右京ふれあい文化会館 | 106,000円 |
| 計 | 530,000円 |

令和8年度

収支（正味財産増減）予算

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和8年度収支（正味財産増減）予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 | 備 考 |
|---------------|-----------|-----------|----------|-----|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1)経常収益 | | | | |
| ①基本財産運用益 | 355 | 355 | 0 | |
| 1 基本財産運用益 | 355 | 355 | 0 | |
| 基本財産受取利息等 | 355 | 355 | 0 | |
| ②特定資産運用益 | 2,300 | 1,300 | 1,000 | |
| 1 特定資産運用益 | 2,300 | 1,300 | 1,000 | |
| 特定資産受取利息等 | 2,300 | 1,300 | 1,000 | |
| ③事業収益 | 2,355,390 | 2,296,016 | 59,374 | |
| 1 自主・共催事業収益 | 616,504 | 607,751 | 8,753 | |
| 入場料収益 | 277,721 | 258,406 | 19,315 | |
| 参加料収益 | 3,356 | 2,741 | 615 | |
| 友の会会費 | 80,396 | 71,212 | 9,184 | |
| 京響コーラス会費 | 3,240 | 2,700 | 540 | |
| 広告料収益 | 23,795 | 44,585 | △ 20,790 | |
| 共催事業収益 | 34,976 | 32,703 | 2,273 | |
| 助成金収益 | 187,952 | 190,084 | △ 2,132 | |
| 物品販売等収益 | 4,068 | 4,320 | △ 252 | |
| 著作隣接権等収益 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 2 事業受託収益 | 251,137 | 231,322 | 19,815 | |
| 事業受託収益 | 251,137 | 231,322 | 19,815 | |
| 3 管理受託収益 | 772,565 | 759,965 | 12,600 | |
| 管理受託収益 | 772,565 | 759,965 | 12,600 | |
| 4 利用料収益 | 667,462 | 657,477 | 9,985 | |
| ホール利用料金収益 | 635,682 | 625,697 | 9,985 | |
| 駐車場利用料金収益 | 31,780 | 31,780 | 0 | |
| 5 その他事業収益 | 47,722 | 39,501 | 8,221 | |
| 企画・演出手数料等収益 | 12,880 | 12,200 | 680 | |
| 賑わい事業収益 | 20,100 | 19,850 | 250 | |
| プレイガイド事務手数料収益 | 14,742 | 7,451 | 7,291 | |
| ④受取補助金等 | 959,000 | 924,000 | 35,000 | |
| 1 受取地方公共団体補助金 | 959,000 | 924,000 | 35,000 | |
| 京都市補助金 | 959,000 | 924,000 | 35,000 | |
| ⑤受取寄付金 | 8,012 | 7,512 | 500 | |
| 1 受取寄付金 | 8,012 | 7,512 | 500 | |
| 寄付金収益 | 8,012 | 7,512 | 500 | |
| ⑥雑収益 | 17,700 | 13,737 | 3,963 | |
| 1 雑収益 | 17,700 | 13,737 | 3,963 | |
| 受取利息等 | 1 | 1 | 0 | |
| 管理手数料等収益 | 17,243 | 12,945 | 4,298 | |
| 雑収益 | 456 | 791 | △ 335 | |
| 経常収益合計 | 3,342,757 | 3,242,920 | 99,837 | |

令和8年度収支（正味財産増減）予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 | 備 考 |
|----------|-----------|-----------|----------|-----|
| (2)経常費用 | | | | |
| ①事業費 | 3,375,518 | 3,258,337 | 117,181 | |
| 役員報酬 | 6,904 | 6,959 | △ 55 | |
| 給料手当 | 1,192,278 | 1,111,180 | 81,098 | |
| 賞与引当金繰入額 | 45,697 | 42,860 | 2,837 | |
| 退職給付費用 | 24,564 | 20,248 | 4,316 | |
| 臨時雇賃金 | 46,854 | 44,855 | 1,999 | |
| 福利厚生費 | 206,913 | 196,995 | 9,918 | |
| 会議費 | 25 | 25 | 0 | |
| 旅費交通費 | 52,511 | 63,891 | △ 11,380 | |
| 通信運搬費 | 30,190 | 35,009 | △ 4,819 | |
| 減価償却費 | 24,994 | 20,579 | 4,415 | |
| 消耗什器備品費 | 2,485 | 3,035 | △ 550 | |
| 消耗品費 | 42,544 | 43,135 | △ 591 | |
| 商品費 | 6,750 | 3,250 | 3,500 | |
| 見本費 | 600 | 10 | 590 | |
| 修繕費 | 29,100 | 26,600 | 2,500 | |
| 印刷製本費 | 46,137 | 47,973 | △ 1,836 | |
| 広告宣伝費 | 29,781 | 28,696 | 1,085 | |
| 光熱水料費 | 212,800 | 213,300 | △ 500 | |
| 賃借料 | 72,822 | 82,262 | △ 9,440 | |
| 保険料 | 3,646 | 3,091 | 555 | |
| 諸謝金 | 7,097 | 5,604 | 1,493 | |
| 租税公課 | 78,427 | 75,121 | 3,306 | |
| 支払負担金 | 33,997 | 33,509 | 488 | |
| チケット購入額 | 385 | 85 | 300 | |
| 支援事業助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| 委託費 | 1,159,976 | 1,133,584 | 26,392 | |
| 接遇交際費 | 158 | 158 | 0 | |
| 支払手数料等 | 13,429 | 11,149 | 2,280 | |
| 雑費 | 4,454 | 5,174 | △ 720 | |
| ②管理費 | 35,284 | 34,122 | 1,162 | |
| 役員報酬 | 4,931 | 4,971 | △ 40 | |
| 給料手当 | 16,909 | 16,076 | 833 | |
| 賞与引当金繰入額 | 2,261 | 1,721 | 540 | |
| 退職給付費用 | 988 | 1,195 | △ 207 | |
| 福利厚生費 | 4,821 | 4,742 | 79 | |
| 会議費 | 200 | 200 | 0 | |
| 旅費交通費 | 200 | 200 | 0 | |
| 通信運搬費 | 100 | 100 | 0 | |
| 減価償却費 | 121 | 181 | △ 60 | |
| 消耗什器備品費 | 100 | 100 | 0 | |
| 消耗品費 | 500 | 500 | 0 | |
| 修繕費 | 50 | 50 | 0 | |

令和8年度収支（正味財産増減）予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 | 備 考 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 印刷製本費 | 50 | 50 | 0 | |
| 保険料 | 300 | 300 | 0 | |
| 諸謝金 | 397 | 397 | 0 | |
| 租税公課 | 1,396 | 1,329 | 67 | |
| 支払負担金 | 300 | 300 | 0 | |
| 委託費 | 500 | 500 | 0 | |
| 接遇交際費 | 50 | 50 | 0 | |
| 支払手数料等 | 1,100 | 1,150 | △ 50 | |
| 雑費 | 10 | 10 | 0 | |
| 経常費用合計 | 3,410,802 | 3,292,459 | 118,343 | |
| 当期経常増減額 | △ 68,045 | △ 49,539 | △ 18,506 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 他会計振替額 | | | | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 90,492 | △ 119,539 | 29,047 | |
| 一般正味財産期首残高 | 528,843 | 648,382 | △ 119,539 | |
| 一般正味財産期末残高 | 438,351 | 528,843 | △ 90,492 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 22,447 | 70,000 | △ 47,553 | |
| 指定正味財産期首残高 | 258,759 | 188,759 | 70,000 | |
| 指定正味財産期末残高 | 281,206 | 258,759 | 22,447 | |
| III 正味財産期末残高 | 719,557 | 787,602 | △ 68,045 | |

令和8年度収支（正味財産増減）予算書 内訳書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

| 科 目 | 公益目的事業 | | | 収益事業等 物品販売等 公益目的外 事業 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計 |
|---------------|-----------|--------------------|-----------|-------------------------------|--------|-----------|-----------|
| | 公 1 | 公 2 | 小 計 | | | | |
| | 文化芸術事業 | ホケステラによる 文化芸術事業 | | | | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | | | |
| (1)経常収益 | | | | | | | |
| ①基本財産運用益 | 355 | 0 | 355 | 0 | 0 | 0 | 355 |
| 1 基本財産運用益 | 355 | 0 | 355 | 0 | 0 | 0 | 355 |
| 基本財産受取利息等 | 355 | 0 | 355 | 0 | 0 | 0 | 355 |
| ②特定資産運用益 | 2,300 | 0 | 2,300 | 0 | 0 | 0 | 2,300 |
| 1 特定資産運用益 | 2,300 | 0 | 2,300 | 0 | 0 | 0 | 2,300 |
| 特定資産受取利息等 | 2,300 | 0 | 2,300 | 0 | 0 | 0 | 2,300 |
| ③事業収益 | 1,514,980 | 596,190 | 2,111,170 | 465,025 | 35,284 | △ 256,089 | 2,355,390 |
| 1 自主・共催事業収益 | 305,174 | 307,262 | 612,436 | 4,068 | 0 | 0 | 616,504 |
| 入場料収益 | 135,454 | 142,267 | 277,721 | 0 | 0 | 0 | 277,721 |
| 参加料収益 | 3,356 | 0 | 3,356 | 0 | 0 | 0 | 3,356 |
| 友の会会費 | 7,000 | 73,396 | 80,396 | 0 | 0 | 0 | 80,396 |
| 京響コース会費 | 0 | 3,240 | 3,240 | 0 | 0 | 0 | 3,240 |
| 広告料収益 | 23,695 | 100 | 23,795 | 0 | 0 | 0 | 23,795 |
| 共催事業収益 | 16,926 | 18,050 | 34,976 | 0 | 0 | 0 | 34,976 |
| 助成金収益 | 118,743 | 69,209 | 187,952 | 0 | 0 | 0 | 187,952 |
| 物品販売等収益 | 0 | 0 | 0 | 4,068 | 0 | 0 | 4,068 |
| 著作権隣接権等収益 | 0 | 1,000 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| 2 事業受託収益 | 33,970 | 288,928 | 322,898 | 0 | 0 | △ 71,761 | 251,137 |
| 事業受託収益 | 33,970 | 288,928 | 322,898 | 0 | 0 | △ 71,761 | 251,137 |
| 3 管理受託収益 | 606,479 | 0 | 606,479 | 130,802 | 35,284 | 0 | 772,565 |
| 管理受託収益 | 606,479 | 0 | 606,479 | 130,802 | 35,284 | 0 | 772,565 |
| 4 利用料収益 | 569,357 | 0 | 569,357 | 266,032 | 0 | △ 167,927 | 667,462 |
| ホール利用料金収益 | 569,357 | 0 | 569,357 | 234,252 | 0 | △ 167,927 | 635,682 |
| 駐車場利用料金収益 | 0 | 0 | 0 | 31,780 | 0 | 0 | 31,780 |
| 5 その他事業収益 | 0 | 0 | 0 | 64,123 | 0 | △ 16,401 | 47,722 |
| 企画・演出手数料等収益 | 0 | 0 | 0 | 12,880 | 0 | 0 | 12,880 |
| 賑わい事業収益 | 0 | 0 | 0 | 20,100 | 0 | 0 | 20,100 |
| プレイガイド事務手数料収益 | 0 | 0 | 0 | 31,143 | 0 | △ 16,401 | 14,742 |
| ④受取補助金等 | 0 | 948,331 | 948,331 | 10,669 | 0 | 0 | 959,000 |
| 1 受取地方公共団体補助金 | 0 | 948,331 | 948,331 | 10,669 | 0 | 0 | 959,000 |
| 京都市補助金 | 0 | 948,331 | 948,331 | 10,669 | 0 | 0 | 959,000 |
| ⑤受取寄付金 | 7,012 | 1,000 | 8,012 | 0 | 0 | 0 | 8,012 |
| 1 受取寄付金 | 7,012 | 1,000 | 8,012 | 0 | 0 | 0 | 8,012 |
| 寄付金収益 | 7,012 | 1,000 | 8,012 | 0 | 0 | 0 | 8,012 |
| ⑥雑収益 | 1 | 0 | 1 | 17,699 | 0 | 0 | 17,700 |
| 1 雑収益 | 1 | 0 | 1 | 17,699 | 0 | 0 | 17,700 |
| 受取利息等 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 管理手数料等収益 | 0 | 0 | 0 | 17,243 | 0 | 0 | 17,243 |
| 雑収益 | 0 | 0 | 0 | 456 | 0 | 0 | 456 |
| 経常収益合計 | 1,524,648 | 1,545,521 | 3,070,169 | 493,393 | 35,284 | △ 256,089 | 3,342,757 |

令和8年度収支（正味財産増減）予算書 内訳書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

| 科 目 | 公益目的事業 | | | 収益事業等 物品販売等 公益目的の外 事業 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計 |
|----------|-----------|--------------------|-----------|--------------------------------|--------|-----------|-----------|
| | 公 1 | 公 2 | 小 計 | | | | |
| | 文化芸術事業 | ホケステラによる 文化芸術事業 | | | | | |
| (2)経常費用 | | | | | | | |
| ①事業費 | 1,529,861 | 1,608,611 | 3,138,472 | 493,135 | 0 | △ 256,089 | 3,375,518 |
| 役員報酬 | 3,945 | 2,466 | 6,411 | 493 | 0 | 0 | 6,904 |
| 給料手当 | 282,909 | 771,331 | 1,054,240 | 138,038 | 0 | 0 | 1,192,278 |
| 賞与引当金繰入額 | 24,883 | 9,708 | 34,591 | 11,106 | 0 | 0 | 45,697 |
| 退職給付費用 | 15,251 | 3,030 | 18,281 | 6,283 | 0 | 0 | 24,564 |
| 臨時雇賃金 | 5,118 | 12,724 | 17,842 | 29,012 | 0 | 0 | 46,854 |
| 福利厚生費 | 50,673 | 127,538 | 178,211 | 28,702 | 0 | 0 | 206,913 |
| 会議費 | 25 | 0 | 25 | 0 | 0 | 0 | 25 |
| 旅費交通費 | 9,739 | 42,539 | 52,278 | 233 | 0 | 0 | 52,511 |
| 通信運搬費 | 10,493 | 18,744 | 29,237 | 953 | 0 | 0 | 30,190 |
| 減価償却費 | 2,587 | 21,781 | 24,368 | 626 | 0 | 0 | 24,994 |
| 消耗什器備品費 | 1,363 | 750 | 2,113 | 372 | 0 | 0 | 2,485 |
| 消耗品費 | 19,945 | 16,166 | 36,111 | 6,433 | 0 | 0 | 42,544 |
| 商品費 | 0 | 0 | 0 | 6,750 | 0 | 0 | 6,750 |
| 見本費 | 0 | 0 | 0 | 600 | 0 | 0 | 600 |
| 修繕費 | 18,339 | 6,500 | 24,839 | 4,261 | 0 | 0 | 29,100 |
| 印刷製本費 | 27,434 | 18,185 | 45,619 | 518 | 0 | 0 | 46,137 |
| 広告宣伝費 | 14,825 | 14,796 | 29,621 | 160 | 0 | 0 | 29,781 |
| 光熱水料費 | 156,896 | 6,500 | 163,396 | 49,404 | 0 | 0 | 212,800 |
| 賃借料 | 93,774 | 140,557 | 234,331 | 2,918 | 0 | △ 164,427 | 72,822 |
| 保険料 | 1,213 | 2,200 | 3,413 | 233 | 0 | 0 | 3,646 |
| 諸謝金 | 3,258 | 3,310 | 6,568 | 529 | 0 | 0 | 7,097 |
| 租税公課 | 42,406 | 10,905 | 53,311 | 25,116 | 0 | 0 | 78,427 |
| 支払負担金 | 2,706 | 30,900 | 33,606 | 391 | 0 | 0 | 33,997 |
| チケット購入額 | 385 | 0 | 385 | 0 | 0 | 0 | 385 |
| 支援事業助成金 | 3,500 | 0 | 3,500 | 0 | 0 | △ 3,500 | 0 |
| 委託費 | 734,596 | 336,684 | 1,071,280 | 176,858 | 0 | △ 88,162 | 1,159,976 |
| 接遇交際費 | 38 | 100 | 138 | 20 | 0 | 0 | 158 |
| 支払手数料等 | 2,188 | 8,145 | 10,333 | 3,096 | 0 | 0 | 13,429 |
| 雑費 | 1,372 | 3,052 | 4,424 | 30 | 0 | 0 | 4,454 |
| ②管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35,284 | 0 | 35,284 |
| 役員報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,931 | 0 | 4,931 |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,909 | 0 | 16,909 |
| 賞与引当金繰入額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,261 | 0 | 2,261 |
| 退職給付費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 988 | 0 | 988 |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,821 | 0 | 4,821 |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 200 | 0 | 200 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 200 | 0 | 200 |
| 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | 0 | 100 |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 121 | 0 | 121 |
| 消耗什器備品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | 0 | 100 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 500 | 0 | 500 |

令和8年度収支（正味財産増減）予算書 内訳書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

| 科 目 | 公益目的事業 | | | 収益事業等 物品販売等 公益目的外 事業 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計 |
|---------------|-----------|--------------------|-----------|-------------------------------|--------|-----------|-----------|
| | 公1 | 公2 | 小 計 | | | | |
| | 文化芸術事業 | ホケステラによる 文化芸術事業 | | | | | |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 | 0 | 50 |
| 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 | 0 | 50 |
| 保険料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 300 | 0 | 300 |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 397 | 0 | 397 |
| 租税公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,396 | 0 | 1,396 |
| 支払負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 300 | 0 | 300 |
| 委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 500 | 0 | 500 |
| 接遇交際費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 | 0 | 50 |
| 支払手数料等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,100 | 0 | 1,100 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 10 |
| 経常費用合計 | 1,529,861 | 1,608,611 | 3,138,472 | 493,135 | 35,284 | △ 256,089 | 3,410,802 |
| 当期経常増減額 | △ 5,213 | △ 63,090 | △ 68,303 | 258 | 0 | 0 | △ 68,045 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 他会計振替額 | | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 5,213 | △ 85,537 | △ 90,750 | 258 | 0 | 0 | △ 90,492 |
| 一般正味財産期首残高 | | | 518,609 | 10,234 | 0 | 0 | 528,843 |
| 一般正味財産期末残高 | | | 427,859 | 10,492 | 0 | 0 | 438,351 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 22,447 | 22,447 | 0 | 0 | 0 | 22,447 |
| 指定正味財産期首残高 | | | 258,759 | 0 | 0 | 0 | 258,759 |
| 指定正味財産期末残高 | | | 281,206 | 0 | 0 | 0 | 281,206 |
| III 正味財産期末残高 | 0 | 0 | 709,065 | 10,492 | 0 | 0 | 719,557 |